

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## オーストラリア連邦（証券コード：-）

### 【据置】

外貨建長期発行体格付	AAA
格付の見通し	安定的
自国通貨建長期発行体格付	AAA
格付の見通し	安定的

### 格付事由

- (1) 格付は、健全な財政ポジション、良好な経済基盤などを主に評価している。経済は、先行きも人口増などを背景とした内需に加え、堅調な輸出により底堅い成長が見込まれる。財政赤字も緩やかな改善が続くと思われる。銀行部門は多額の対外債務を有しているが、為替リスクはヘッジされ、ショックに対する耐性も有している。これにより格付を据置、見通しは安定的とした。
- (2) 総面積は世界第6位の天然資源に恵まれた英連邦加盟国。人口は24.1百万人と多くはないが、16年の名目GDPは1.3兆米ドル、1人当たりGDP（購買力平価）は4.8万米ドルに上る。高度に発展した経済であり、鉄鉱石などの天然資源にも恵まれている。16年の経済は、内需は前年から横ばいとなったものの、堅調な資源などの輸出に支えられ、成長率は2.5%を維持した。17年も、個人消費の拡大、インフラ整備など公共投資増に加え、堅調な資源輸出などにより2%~3%の成長が可能とみられる。先行き経済は、家計債務の動向に注意が必要ながら、18年以降も人口増などを背景とした内需と資源輸出に牽引され底堅い成長が続くとみられる。
- (3) 財政ポジションはJCRがAAAの格付を付与するソブリンの中でも比較的良好であり、16年度（7月から6月）も一般政府総債務残高はGDP比50%以下と低く抑えられている。17年度予算（財務省）では、財政赤字は16年度のGDP比1.9%から同1.6%に縮小させる計画となっている。歳入面では、大手銀行5行に対する賦課金の導入、国民健康保険の保険料率の引き上げを掲げる。一方、歳出はインフラ投資予算などが盛り込まれているが、全体として抑制されている。政府は、財政赤字を18年度に同1.1%まで縮小し、20年度に黒字化させる計画を打ち出している。08年度に財政赤字に転じて以降、財政収支の改善は政府の当初の計画から遅れているものの、今後も緩やかな改善が続くとみられる。
- (4) 恒常的な経常赤字を受けて、銀行部門を中心に対外債務が拡大し、16年末の総対外債務はGDP比126%となった。貯蓄率は先進国の中でも高いが、依然投資が貯蓄を上回り経常赤字が拡大しやすい構造となっており、17年の経常収支もGDP比2%前後の赤字となる見込みである。銀行部門は対外債務の約54%を占めるが、為替リスクはヘッジされているほか、財務も健全であり、不動産価格下落のショックに対する耐性を有している。

（担当）内藤 寿彦・利根川 浩司

### 格付対象

発行体：オーストラリア連邦（Commonwealth of Australia）

### 【据置】

対象	格付	見通し
外貨建長期発行体格付	AAA	安定的
自国通貨建長期発行体格付	AAA	安定的

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2017年11月7日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：増田 篤  
主任格付アナリスト：内藤 寿彦
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「ソブリン・準ソブリンの信用格付方法」（2014年11月7日）として掲載している。
5. 格付関係者：  
（発行体・債務者等） オーストラリア連邦（Commonwealth of Australia）
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が公表した経済・財政運営方針などに関する資料および説明  
・ 経済・財政動向などに関し中立的な機関が公表した統計・報告
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、発行体または中立的な機関による対外公表という、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 非依頼格付について：  
本件信用格付は格付関係者からの依頼に基づかない信用格付である。国に対する信用格付である場合を除き、依頼に基づく格付と区別するため格付記号の後に「p」を表示している。格付関係者からは、信用評価に重要な影響を及ぼす非公表情報を入手していない。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### 留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル